

重点的に取り組むべき22項目の取組状況について① (R3.7時点)

【凡例 (改革項目区分)】

- : 人事制度改革
- : 業務改革
- : 職場改善
- : 広報改革

資料 1 - 1

重点的に取り組むべき22の改革項目について、現在の取組状況は以下のとおり。

改革項目名	取組状況	現在の取組状況の内容	R2アンケート	
			期待度	認知度
83 冷暖房の温度調整や稼働時間の柔軟化等	継続実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ R元より、冷暖房の20時以降の延長運転の簡素化や、柔軟な温度変更、クールビズの運用柔軟化等を実施し、快適な職場環境づくりに取り組んでいる。 ・ 上記取組を引き続き実施中。 	63%	61%
53 委員会開催スケジュールの事前合意・共有と質問通告 2 日前ルールの徹底	-	<ul style="list-style-type: none"> ・ 厚労省としてできる国会業務の効率化に引き続き取り組みながら、政府全体の取組を見極めつつ、国会に協力頂けることについて、関係者と相談を進めていく。 	62%	-
68 テレワークの推進・環境整備 (トークン・同時接続数の増設、更なる推進策等)	取組進展	<ul style="list-style-type: none"> ・ R3.2よりソフト・トークンを導入し、ハード・トークンも含めて本省全職員にトークンが行き渡る環境 (約5,550個) を整備済み。 ・ R3.4より、西ヶ原研修所において、サテライトオフィスとしての試行運用を開始。 	62%	43%
30 超過勤務手当の適切な執行 (執行状況を踏まえた運用改善等)	継続実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ R2.5より、各部局の超過勤務手当の執行状況等について、毎月調査を行い、調査結果を踏まえた運用改善を進めている。 ・ 必要な確認・調査及びそれらに基づく予算調整を引き続き実施中。 	49%	17%
39 コールセンター増員による、電話対応の負荷削減	具体策検討	<ul style="list-style-type: none"> ・ R3.2に電話交換順位 (音声案内) の変更を実施。 ・ 電話対応の基本知識の周知等については、コロナ関連の電話対応増加、電話交換順位の変更に伴うコールセンターの運営補助業務増大の対応等のため、検討が進まなかった。 ・ 行政相談室の体制強化のための増員要求を予定。 	47%	37%
6 内示時期の前倒しによる十分な引継ぎ時間等の確保 (転居を伴う異動: 1 か月前、それ以外: 2 週間前)	継続実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ R3.4.1の定期異動においても見直し後のルールを適用。 	45%	52%
40 議事録作成支援 (自動文字起こし) システムの導入	取組進展	<ul style="list-style-type: none"> ・ R3.3より、国会中継の文字起こしについて、文字起こし用端末を貸出し用機器として整備し、各部局における試験運用を開始。 ・ 音響設備を使用した会議の文字起こしについて、実現可能性の検証を実施。 	44%	-
57 通告時間やいわゆる「空振り答弁」等の分析・公表	-	<ul style="list-style-type: none"> ・ 厚労省としてできる国会業務の効率化に引き続き取り組みながら、政府全体の取組を見極めつつ、国会に協力頂けることについて、関係者と相談を進めていく。 	44%	-

※ 既に実行済の改革を継続しているものは「継続実施」、前回実行チームから改革が進展したもの/進展することが見込まれているものは「取組進展/進展予定」、主要な取組内容について検討中のものは「具体策検討」としている。(国会のご協力が必要な事項は「-」としている。)

※ R 2 に実施した職員アンケート調査の結果に基づき、「期待度」が高い項目順に記載。「認知度」は、当該調査時点ですでに周知・実施されていた項目のみ調査。

重点的に取り組むべき22項目の取組状況について② (R3.7時点)

改革項目名		取組状況	現在の取組状況の内容	R2アンケート	
				期待度	認知度
33	厳正な人事評価の徹底（C評価等の基準明確化、ハラスメント傾向職員への厳正対応等）	進展予定	<ul style="list-style-type: none"> • これまでも、ハラスメントを行った職員について、主に、能力評価において厳正に対応し、調整者においても厳正にチェックする等の人事制度を運用。 • ①上記の人事評価における対応について、R3.9月期の定期評価実施にあわせて周知予定、②R3.11月頃に、多面観察の対象を拡大して実施予定。 	43%	15%
14	人事的配慮が可能なポストの拡充（同一業務への複数名配置、独任ポストの廃止等）	取組進展	<ul style="list-style-type: none"> • 各部署の法令・国会に係る総括役の複数配置を実施。 • R3.4.1付けの組織細則の改正により係の大括り化を実施した事例あり。 • 今後も事例を把握し、人事担当者へ周知することで取組を促していく。 	41%	14%
28	出勤簿・休暇簿等の電子化（押印廃止）と出退勤管理の一元化・強化	進展予定	<ul style="list-style-type: none"> • 出退勤管理支援システムの開発を進め、省内配布に向けた最終案について、関係者間でテストを開始し、不具合等を確認中。 	40%	-
47	国会答弁のデータベース化	具体策検討	<ul style="list-style-type: none"> • R3.6に国会書庫の活用状況に係るアンケートを実施。結果を踏まえ、必要な対応を検討。 	36%	24%
38	RPA事業の本格実施による業務負荷の低減（RPA：ロボット技術による定型業務の自動化・効率化）	取組進展	<ul style="list-style-type: none"> • R3年度、通勤手当認定における申請経路の確認業務等、新たに3業務を開発中。随時業務を増やす。 • R2.12に、共働支援システム上にRPAポータルを開設し、導入事例や学習コンテンツを掲載して省内に広く周知済み。その後も若手チームより随時周知を行っているところ。 	34%	31%
44	問表作成の効率化（省内伝達方法、割振調整のルール見直し等）	具体策検討	<ul style="list-style-type: none"> • 部署の繁忙期などに、委員会の「議事」等を記載した問表様式を各部署に提供することで、各部署の作業負担の軽減と業務の効率化を図った。 • 引き続き、同時編集機能の活用等による更なる効率化が可能かを検討し、必要な見直しを実施。 	33%	30%
45	答弁様式等のダウンロード（Wordテンプレートからダウンロード可能に）	取組進展	<ul style="list-style-type: none"> • 国会答弁の所定様式の使用に関し本格稼働を開始。 • R3.4から法令RPAを導入するとともに、省令や告示など一部の様式をワード化。 	33%	30%
46	国会答弁審査のペーパーレス化（原則メール・電話による官総審査）	継続実施	<ul style="list-style-type: none"> • R3.4以降も継続的に官房総務課でのペーパーレス審査を実施中。 • 引き続き国会会期前などの機会を捉え、各部署での答弁審査効率化も促していく。 	33%	44%

※ 既に実行済の改革を継続しているものは「継続実施」、前回実行チームから改革が進展したもの/進展することが見込まれているものは「取組進展/進展予定」、主要な取組内容について検討中のものは「具体策検討」としている。

※ R 2 に実施した職員アンケート調査の結果に基づき、「期待度」が高い項目順に記載。「認知度」は、当該調査時点ですでに周知・実施されていた項目のみ調査。

重点的に取り組むべき22項目の取組状況について③（R3.7時点）

改革項目名	取組状況	現在の取組状況の内容	R2アンケート	
			期待度	認知度
67 外部ウェブサイトへのアクセスやファイルダウンロードの際の手順簡素化	進展予定	<ul style="list-style-type: none"> ・ R4のシステム更改時に、より使いやすいウェブサイト閲覧方式に変更予定。R3.7にシステム更改の事業者が決定。今後、設計等を固めていく。 		
70 大容量データ共有システムの導入	取組進展	<ul style="list-style-type: none"> ・ R3.4より、新型コロナウイルス対策本部等において、試行運用を実施中。R3.7以降、試行運用の対象を各部局にも広げて実施予定（現在利用希望者を募集中）。 ・ R4のシステム更改時に、大容量データ共有システムを本格導入予定。 	33%	-
5 多様なキャリアパスの策定（管理職を希望しない場合のキャリアパス等）	具体策検討	<ul style="list-style-type: none"> ・ R3.3までに、関係部署において多様なキャリアパスの策定等を実施するとしていたところ、R2秋以降、職員の希望を調書、ヒアリングで把握したところであり、それらの希望を踏まえ、対応を検討中。 ・ R3秋（人事異動希望調書の作成及び人事面談の時期）に向けて、人事Gに対して職員の希望把握を適切に実施するよう周知するとともに、職員に対して希望の申出を行うよう周知予定。 	32%	-
58 ペーパーレス化の徹底	進展予定	<ul style="list-style-type: none"> ・ R3.7中旬より、外部とのWeb会議で職員PCよりWebex及びTeamsが利用できる環境を整備予定。 ・ R4のシステム更改時に、web会議システムが使いやすい環境を整備予定。 	32%	37%
26 民間企業経験者の公募ポストの拡充（任期付職員の採用マニュアル整備等）	取組進展	<ul style="list-style-type: none"> ・ 係長中途採用を実施し、R3.4.1~.6.1付で、計43名を採用。 ・ 任期付採用マニュアルの重層的周知については、R4.4採用に向け、R3秋頃に実施予定。 	31%	-
35 人事課内の組織体制強化（増員や定型業務の整理合理化など）	継続実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ R3年度においても引き続き事務処理の統合・見直し等を不断に実施。 	30%	10%

※ 既に実行済の改革を継続しているものは「継続実施」、前回実行チームから改革が進展したもの/進展することが見込まれているものは「取組進展/進展予定」、主要な取組内容について検討中のものは「具体策検討」としている。

※ R 2 に実施した職員アンケート調査の結果に基づき、「期待度」が高い項目順に記載。「認知度」は、当該調査時点ですでに周知・実施されていた項目のみ調査。